## 学習·教育到達目標に到達するための授業科目の流れ(電気情報工学科→ESコース R5入学) 電気情報工学科3年 電気情報工学科4年 電気情報工学科5年 前期 前期 後期 応用解析Ⅰ 応用解析Ⅱ 基礎数学Ⅱ 基礎数学Ⅲ 微分積分 I 応用数学IB 数学演習 I B → 線形代数 I 線形代数Ⅱ 応用数学ⅡB 数学演習Ⅱ 物理IA 物理IB → 物理ⅡA 物理IIB 応用物理Ⅰ 応用物理Ⅱ 物理Ⅲ① 近代物理学 **化学IB** → 化学IA 化学ⅡA ◆ 化学ⅡB ライフ&アースサイエンスA ライフ&アースサイエンスB 化学皿① (A) 電気磁気学Ⅰ 電気磁気学Ⅱ 電気磁気学Ⅲ アナログ信号処理 Ⅰ アナログ信号処理 Ⅱ システム設計学 電気概論 電気回路 交流回路 Ⅰ 回路理論 情報数学 情報理論 電磁気応用工学 電気磁気学Ⅰ 電気磁気学Ⅱ アナログ信号処理 Ⅰ アナログ信号処理 Ⅱ ディジタル信号処理 ◆ 制御工学 I エネルギー工学 I エネルギー工学Ⅱ 回路理論 過渡現象論 名回皮雷 電磁気計測 アナログ回路 論理回路 情報リテラシー C言語実習 流体工学特論 電子工学 I 電子工学Ⅱ 半導体工学 伝送工学 映像メディア工学 (C) インターンシップ インターンシップ 物理IA 物理IB 物理ⅡA 物理ⅡB 化学IB (D) C言語実習 数値解析実習 電気情報工学実験ⅠA】→・電気情報工学実験ⅡA】→・電気情報工学実験ⅢA】→・電気情報工学実験ⅢB】→・電気情報工学実験ⅢB】→・電気情報工学実験ⅣB】 特別演習 ★ 総合国語 I A ★ 総合国語 I B ★ 関語国文 I ② ★ 国語国文 I ② ★ 現代文Ⅱ 日本文化論 現代文 I 古文 I 世界史Ⅰ 世界史Ⅱ 日本史 宗教と「こころ」 I ② 宗教と「こころ」II(3) ドイツ文化論 I ④ ドイツ文化論 Ⅱ ⑤ 国際金融論 I ② 国際金融論Ⅱ③ 現代社会と宗教 [ 4) 現代社会と宗教 II ⑤ 地理 人間論 I 科学と社会 技術者倫理 経済学 哲学 地域学 I ④ 地域学Ⅱ⑤ 現代日本の政治・経済と法I 現代日本の政治・経済と法Ⅱ (E) 総合英語 I B 総合英語 II A 総合英語IIB 総合英語ⅢA 総合英語ⅢB 総合英語ⅣA 総合英語IVB 総合英語VA 総合英語VB 英語演習 I → 英語演習 II 英会話IB 英会話ⅢA 英会話IB 実践英会話Ⅱ アート&デザイン Ι アート&デザイン Ⅱ 工業英語 ドイツ語 I ② ドイツ語 Ⅱ ③ 中国語 [②] 中国語 [[3] 韓国語 [4] 韓国語Ⅱ⑤ 日本語A 日本語B 日本語E 日本語F インターフェース ፤ インターフェース Ⅱ 世界史Ⅰ 世界史Ⅱ 宗教と「こころ」 I ② 宗教と「こころ」Ⅱ③ 現代社会と宗教 I ④ 現代社会と宗教 Ⅱ ⑤ 日本史 国際金融論 I ② 国際金融論Ⅱ③ 科学と社会 技術者倫理 (F) 地理 人間論Ⅱ 経済学 哲学 現代日本の政治・経済と法 [ ④ 現代日本の政治・経済と法Ⅱ(5 防災リテラシー 電気情報工学実験ⅠA 電気情報工学実験ⅠB 電気情報工学実験ⅢA 電気情報工学実験ⅢB 電気情報工学実験IVA 電気情報工学実験IVB 特別演習 (G) 数値解析実習 ディジタル信号処理 コンピュータグラフィックス (H) ネットワーク論 I ネットワーク論 I オペレーティングシステム I -ネットワークシステム論 物理IA 物理IB 物理IIB 物理IIB 近代物理学 化学皿① 先端材料工学

● 電気情報工学実験ⅡA ■ ● 電気情報工学実験ⅡB ■ ● 電気情報工学実験ⅢA ■ 電気情報工学実験ⅢB

創浩工学

(I)

工学基礎

現代日本の政治・経済と法 [ ④ 現代日本の政治・経済と法 [ ①

地域学Ⅱ⑤

地域学 I ④

## 学習·教育到達目標

- (A) 自然科学と工学の基礎を身につける。
- (B) 専門分野の基礎知識を修得し、技術の実践に応用できる。
- (C) 修得した知識を統合し、製品やシステムを考案できる。 (D) 実験・実習・演習により現象の理解を深め、実践力を身につける
- (E) 技術者に必要な人間性、国際性、協調性及び英語による基礎的なコミュニケーション 能力を身につける。
- (F) 技術が自然や社会に与える影響を理解し、技術者としての倫理観を身につける。
- (G) 課題の提案・報告などを適切にまとめ、発表できる。
- (H) コンピュータを技術の実践に活用できる。
- (I)責任を自覚し、互いに協力し合い、チームの目的達成に貢献できる。

特別演習

(i)高度な数学の知識と幅広い工学の基礎知識を修得し、専門分野に応用することがで

- i)電気電子工学分野の深い学識を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる
- (iv) 修得した人文・社会科学の知識により広い視野と国際感覚を持ち、技術者として倫理的に行動することができる。
- r )技術者としての実践力、協働力を身につけ、地域、社会等の課題の発見と解決に対し 、修得した知識・技術を融合して創造的に取り組むことができる。また、その成果を発表